

学生生活インタビュー

【放課後の過ごし方】

放課後はまず授業の課題にとりかかることが多いです。提出期限が先の課題でも溜めてしまうと後で苦労するので授業後のやる気があるうちにやります。アルバイト（週に2〜3日）に行ったり、スーパーへ買い物行って夕食の準備をしたりもします。時々友達とご飯を食べに行くこともあります。私が所属しているサークルは土日に活動することが多く、放課後のサークル活動はしていません。

【下宿のいいところ、大変なところ】

下宿のいいところは、家にいるのが自分一人なので誰にも気兼ねせず自由に生活を送れるところです。帰宅する時間や食べるものはもちろん、電話するときなど家族に気を遣っていたことが自由にできます。大変なところはやはり家事です。

【読者へのひとこと】

料理・洗濯・掃除をいつ何時でも一人でこなさなければならぬので、疲れているときは特に大変です。また、家に一人というのは自由である反面無性に寂しくなるときがあります。友達と遊んだ後は特に寂しさを強く感じます。

【読者へのひとこと】

大学は高校までと比べると、とても自由です。時間割を自分で組むことができることもあり、どのような大学生活を送るかはその次第です。自由である反面、行動には責任を伴うので注意が必要な時もあります。高校までと違い先生が全て面倒を見てくれる場所ではありませんが、興味のある分野を深く学べたり、今まで興味を持たなかった分野の面白さを知ることができたりします。また、自分と出身や考え方が違う人達にたくさん出会えるのも魅力のひとつです。

下宿生のお話



言語文化学科
国語国文学コース2回生
にしあかよき
西岡佳希さん

【放課後の過ごし方】

4回生は卒業論文を執筆する段階に入るので授業は少なめです。空きコマは学情で卒業論文の文献を読んだり、所属コース学生部屋で友達とお喋りしたりしています。アルバイトは週3回、昼から夜まで働いています。休日には、課外活動団体のミーティングに参加したり、友達とショッピングや食事をしたりと充実しています。この間は大阪市の体育館を借りて友達を集め、バスケットボール大会を開きました。

【実家のいいところ、大変なところ】

良いところは、自由に使えるお金が比較的多いところかなと思います。下宿にかかる費用をアルバイトで賄っている友達もいるので、すごいなと思ってます。

大変とは違うかもしれませんが、僕の場合、家事を親に甘えてしま

【読者へのひとこと】

うため生活力がつきにくいですが、これではいけないなと思い、最近スーパーで買い物をして料理をするようになりました。下宿している友達の家に遊びに行くと、一人暮らしが羨ましく感じてしまいますね（笑）

【読者へのひとこと】

大学生は一言でいえば自由と責任。これに尽きます。履修する授業、付き合う友達、使えるお金など様々なものが中学高校と比べて自由になります。もちろん、ある程度の制約はありますが。自分のやりたいことを自分の責任の下で行うことができ、それがとても楽しいです。自由であり、責任も伴う。大学生になったらそんな醍醐味を感じてほしいなと思います。

実家住まいのお話



人間行動学科
教育学コース4回生
とみあかゆう
富岡優さん